

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	顔なじみの職員でという小さなグループケアは良い反面、時に近距離過ぎて双方がストレス過多に陥りやすく、粗暴なふるまいの職員がいる。	全職員が常にご利用者に対して尊敬の念を持ち、平常心でケアにあたるよう努める。	・繰り返し学習会を行い、直らない職員は個別に学習指導する。 ・定期的にユニット配置換えをする。	2ヶ月
2	3	近隣の方々に福祉施設としてご理解をいただいているが、認知症対応型グループホームであることをまだまだ多くの方に知ってもらえていない。特にご利用者のご家族・友人等の中にも「認知症」について正しく理解されていない方が多い。	「認知症」について学ぶ機会を設けて、施設を知ってもらう。	色々なグループ設定で「認知症サポーター養成講座」を開催して、認知症を正しく理解してもらう。	12ヶ月
3	13	職員の力量の格差があり、統一したケアと施設全体の底上げに至っていない。学ぼうという意欲・向上心が欠けている職員がいる。	統一したケアと共にサービスの質の向上を計り、施設全体の底上げをする。	・職員の意識の改革。 ・施設外研修へ 1人1回以上の参加。	6ヶ月
4	53	ご利用者がホール・居室以外で「ホッと」できる場所が少ない。	ご利用者が「ホッと」安らげる居場所を作る。	・中庭・玄関・廊下の一角などにベンチや椅子で小スペースを作る。 ・小さなテーブルで別空間を演出する。	7ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。